



▲常陸大宮市水道管理事務所

常陸大宮市の水道のこと

「ご存じですか？」

私達の生活にかかせない水。蛇口をひねれば当たり前のようにきれいな水が出てきますが、水がどのようにしてそれぞれの家庭に届いているのかご存じの方は少ないのではないでしょうか？

ここ常陸大宮市では、水がどのような過程を経て水道水として供給されているのか、そして、水道を使用される皆さんにぜひ知っておいていただきたいことなどをご紹介します。

常陸大宮市の水道事業

常陸大宮市の水道事業は、上水道事業と簡易水道事業の二つに分かれています。

どちらの事業で行うかは、給水人口によって決められていて、給水人口が5001人以上の大宮地域は上水道事業、給水人口が1001人以上5000人以下の山方・美和・緒川・御前山地域は簡易水道事業で行われています。

また、水源は地域によって以下の図のように異なります。

上水道

大宮地域

水源

久慈川表流水
地下水

簡易水道

山方地域

水源

地下水

美和地域

水源

地下水

緒川地域

水源

地下水
伏流水

御前山地域

水源

地下水

■表流水

河川を流れている水です。

水量的に豊富で安定した取水が可能のため、日本の水道水として最も利用されています。

ただし、季節による水温の上下や、大雨による濁りなど、水質的な変化が大きいという性質もあります。

■伏流水

河川の底に形成されている砂利層の内部を流れている水です。

砂利層のろ過効果によって、表流水に比べて不純物の少ない良質な水で、比較的安定した取水量が期待出来ます。

■地下水

地下を流れている水です。

一般的に表流水や伏流水などの河川水に比べて水質・水温の安定した良質な水ですが、土壌から溶け出した成分によっては、塩分や硬度（カルシウム・マグネシウム等）が高くなることもあります。

水道水がご家庭に届くまで

工程1

水を取り込む

河川・井戸などから取り入れられ、水道水の元となる水のことを原水といいますが、原水には、流れている場所によって色々な種類がありますが、常陸大宮市では主に表流水、伏流水、地下水の原水から水道水を作っています。

工程2

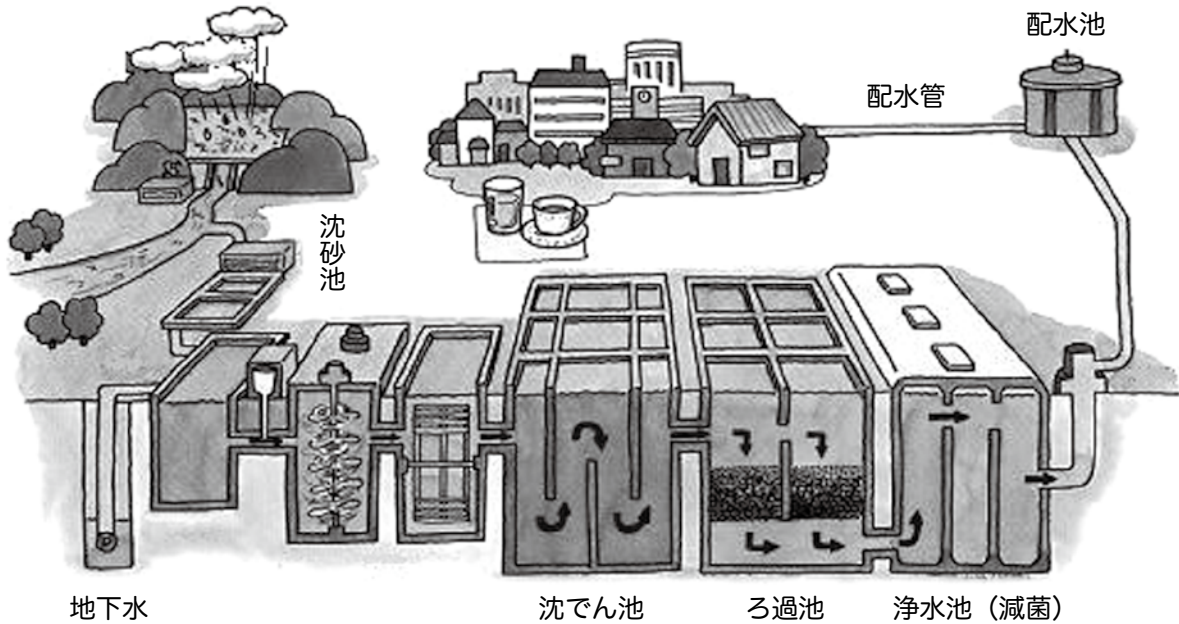
原水から浄水へ

取り入れた原水は浄水場に運ばれ、不純物等を取り除く処理や塩素滅菌を施してきれいな水（浄水）となります。

工程3

水道水を届ける

浄水場で作られた水道水は山の腹等の高所に設置された配水池に送られ、そこから各家庭や学校・工場等へと配水されます。



▲水道管理事務所内にある遠隔監視装置



▲市営牧場にある大宮・西部配水場

給水装置の維持管理

道路に埋設している水道管（配水管）から分かれて家庭まで引き込まれた給水管や、これに直接取り付けられた蛇口などの給水用具をまとめて「給水装置」といいます。

給水装置は設置した方の財産となりますので、維持管理及び漏水等の修繕費用についても使用者の負担となります。

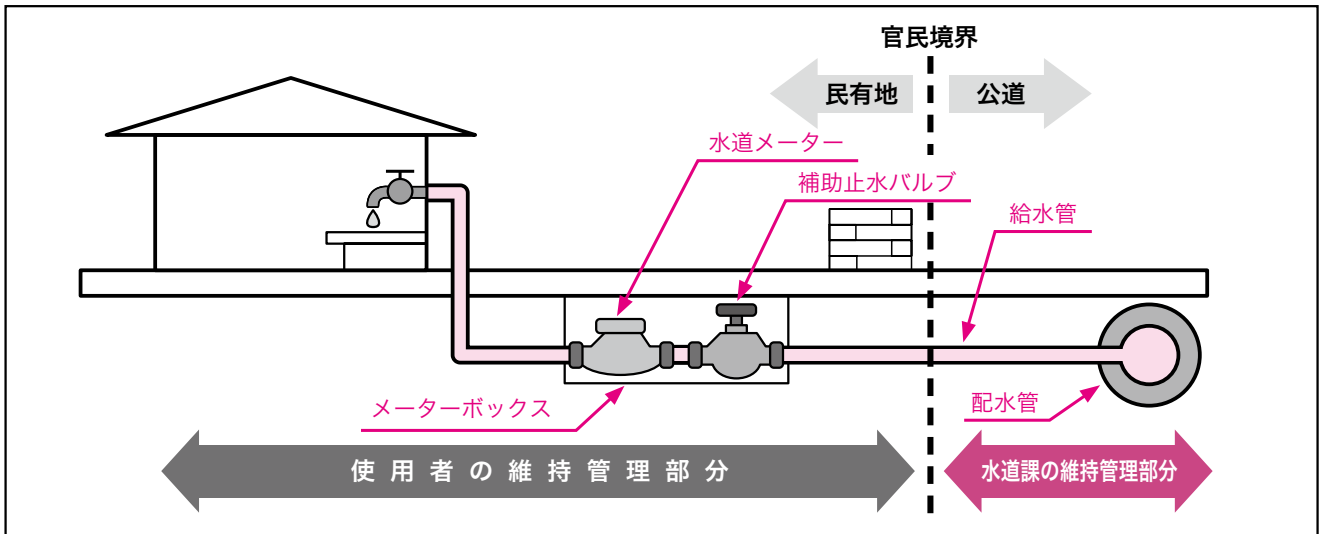
ただし、公道部分についての維持管理は水道課で行います。

給水装置は長年使用していると次第に材料が劣化し、漏水が起る可能性がありますが高くなりますので、定期的な点検をお勧めします。

次のような時は一度、水道メーターをチェックしてみましょう！

・いつもと同じように使っているのに、最近水道料金が高くなった。

・メーター検針員からいつもに比べて、水量が増えていると言われた。



漏水の簡単な見つけ方

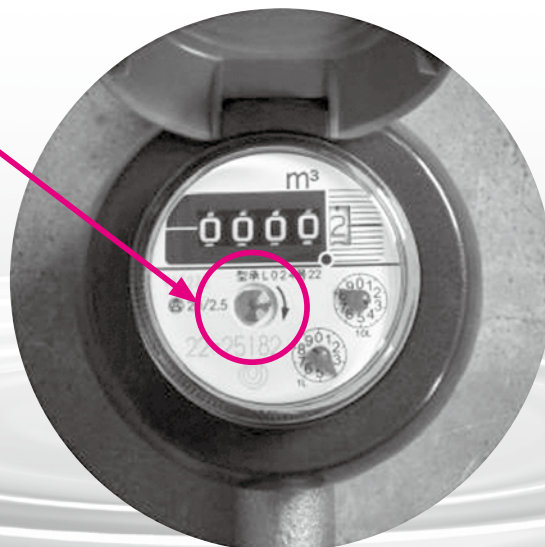
家の中の蛇口を全部閉めて、水道メーターを見てください。

この時、メーターのパイロット（銀色のコマ）が回転していれば漏水の可能性がります。

漏水している場合は、早急に水道工事店（市指定給水装置工事業者）へ修繕の依頼（有料）をしてください。

そして、修繕が終わったら、水道料金の減額の対象となる場合がありますので、『漏水による水道料金の減額申請書』により水道課へ申請してください。

パイロット



塩素消毒について

水道水中に残っている消毒効果のある塩素のことを「**残留塩素**」と呼びます。

浄水場で作られた水道水には、有害な菌は存在しませんが、浄水場から家庭へ送られる間に、細菌等が繁殖するのを防ぐのに残留塩素が必要となります。

水道水の安全を確保するため、蛇口での残留塩素濃度は0.1mg/l（ミリグラム毎リットル）以上必要であると法令で定められています。

残留塩素があるということは、消毒効果が持続して、水道水が安全だということを示しています。



▲塩素注入装置

メーターボックス内を保温

メーターボックス内に発泡スチロールや布切れ等を入れ、水道メーター等を保温してください。



水道管の冬支度について

これから寒さが厳しくなってきましたが、水道管の防寒対策は万全でしょうか？

気温がマイナス4℃以下になると、水道管や水道メーターが凍結し水が出なくなったり、破裂したりすることがありますので、ご家庭で出来る防寒対策を行いましょ。

凍結してしまったら



凍結して水が出ない時には、蛇口を開けて、凍った部分にタオル等をかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりとかけてください。

熱湯をかけるとひび割れや破裂を起こすことがあるので注意しましょう。

露出している水道管や蛇口を保温



水道管や蛇口に保温材や毛布等を巻きつけ、水に濡れて凍らないようにその上から隙間なくビニールテープ等でしっかり巻いてください。

水道管が破裂してしまったら

水道管が破裂した時は、メーターボックス内の補助止水バルブを閉めて水を止めます。応急処置として破裂した部分に布かテープをしっかりと巻いて、市指定給水装置工事業者へ修繕の依頼をしてください。

■問い合わせ先■ 水道課 ☎ 52-0427
各総合支所 経済建設課 建設・上下水道グループ
山方 ☎ 57-6811 美和 ☎ 58-3852
緒川 ☎ 56-3994 御前山 ☎ 55-2115